

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル:ホウルの翼(仏語)】

2011年3月号



3月11日に発生した東日本大震災に被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます

1

東根市にて恒例の大沼杯に出場！富谷 JHC がアベック優勝飾る

去る2月26日～27日、山形県東根市にて第5回東北ブロック小学生ハンドボール大会兼第20回大沼杯小学生ハンドボール大会が開催され、岩手県からは男女5チームが出場しました。6年生にとっては最後の東北大会ということで、どのチームも非常に気合が入っていたと思います。さて、われらが花巻クラブジュニアの気になる結果ですが、まず男子は緒戦の横堀ハンドスター(秋田)を26対9で破り、勢いに乗りたいたところでしたが続く地元・東根ハンド(山形)に18対8で敗れ、惜しくも決勝トーナメント進出なりません。東根ハンドさんには長身の野球出身選手が数名おり、体格的にはほぼ完敗といった様相でしたが、最後まで一生懸命走り、スピードでは負けなかったことはとても大きな自信につながったと思います。男子は翌日の順位決定戦で羽後ハンド(秋田)に21対11で勝利し、全体5位で大会を終了しました。最後の試合は内容も非常に良く、また GKも羽後の選手の超速シュートを何本も阻止し、勝利に貢献してくれました。その高橋幸宏 GKが優秀選手に選ばれました。



女子は緒戦から優勝候補の富谷 JHC との対戦。長身のエースそして速攻をなかなか止めることができず、30対8でトーナメント戦を勝ち上がることができませんでした。続く尾花沢ハンド戦も残念ながら14対8で負けてしまいましたが、みんな一生懸命頑張り、最後まであきらめずに試合に臨んだことは素晴らしいと思います。

創部して間もない富谷 JHC ですが、男女とも着実に力をつけ、今大会嬉しいアベック優勝を果たしました。心から祝福するとともに、今後ますますお互いに切磋琢磨していきたいと改めて感じました。

2

小学生ハンド教室に初の外国人コーチ参上！

全5回シリーズで行われていた花巻市小学生冬季ハンドボール教室ですが、その第3回目を迎えた3月1日、特別コーチとして、なんと全日本ジュニア代表コーチで JHA などでも指導されているネメシュ・ローランドさんがやってきてくれました。3月下旬に予定されているミニハンドボール大会に向け、ヨーロッパで盛んに行われているミニハンドボールを指導するため、母国ハンガリーのハンドボール協会から借りてきたミニハンド用のゴール&ボールを持参しての来花でした。日本語も非常に達者で、ユーモアを交えながら小学校高学年に指導していただきました。アップではボールを使いながら、しかも筋力トレーニングも交えた動きを取り入れていて、少年団スタッフもとても勉強になりました。アップの後は、実際にミニハンド用の



ボールを使ってゲームをしてみました。このボールですが、スポンジ製で柔らかいのですが適度な重さがあり、小学生でも十分片手でコントロールすることが可能です。ぶつかっても怪我の心配がないので、GKも思い切ったキーピングに挑戦できます。

また、サイズも豊富で、5歳児用から12歳用など、成長度合いに適した展開になっています。是非、日本のボールメーカーでもこのようなボールを作って欲しいと思いました。さて、ゲームの方ですが、なかなかシュートが入りません。普段よりボールが小さいのになぜ？と



思いましたが、実はボールが軽いために、きちんとした投げ方ができていないとゴールの枠外に外れてしまうからでした。ローランドさんいわく、「きちんと肘が上がって、かつコンパクトな振りになっていないとコントロールできない。普段は、きちんとフォームができていなくてもボールの重さで山なりシュートでも入ってしまう」とのこと。確かにそのとおりで、私たち指導スタッフは、もっと投げ方を意識して教えないといけないなという思いを新たにしました。ゲーム終了後は、ローランドさんから改めてボールの投げ方について指導があり、また子どもたちに対しては、「この中から日の丸をつける選手が出てくることを期待している。ジュニア代表のコーチとして、また会えることを楽しみにしている」との激励をい

ただき、子どもたちもそのメッセージを真剣な表情で受け止めていたようでした。ローランドさん、遠いところご指導にきていただき、本当にありがとうございました。

3

審判講習会 ～レフェリーの皆さんも頑張っています！

毎年この時期に行われている岩手県及び東北ブロックの審判講習会ですが、こちらにも豪華な講師がやってきました！いつもご指導いただいている東北ブロック審判長の中舘豊先生、日本協会審判部で審査指導委員の小友正人先生に加え、日本ハンドボール協会より、審判部長の植村彰氏、審判部国際委員長の仲田稔氏をお迎えし、岩手県はじめ東北ブロックの審判員が研鑽に励みました。

午前中は、岩手国体に向けた審判養成事業として、若手の審判員を中心に実技講習が行われました。会場の富士大学には、複数の高校女子チームが富士大学と練習試合を行っており、その試合を実際に審判して、具体的な指導をいただくという内容でした。全日本総合選手権決勝や数々の国際試合を担当されたご両名に直接アドバイスをいただけるという非常に貴重な経験だったと思います。



昼休みを挟み、午後からは東北各県の審判員も参加して講義が行われました。ここでも、動画を使って詳しく講義していただき、非常に分かりやすい解説をしていただきました。東北ブロックにおける審判技術の向上により、東北ブロックのハンドボールレベル向上につながればよいなあと思います。また、選手の安全を守ることはもちろん、クリーンなハンドボールを展開することによって、

ハンドボールは素晴らしいスポーツであることを再認識してもらえよう、審判員も頑張っていきたいと思います。

植村先生、仲田先生、遠くからお越しいただいた上、懇切丁寧なご指導、本当にありがとうございました。

L'aille d'Howl (ライル・ドウル)

2011年3月号

2011年3月25日発行

発行：花巻市ハンドボール協会

Special Thanks to: リトルハンド HP